

平成29年度

小・中学生フォーラム i n 新宿西戸山中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

6月30日（金）、新宿西戸山中学校（百人町4丁目3-1、校長：岩永章）の3年生135名が、『「未来を語る」～夢を語り、今を考える～』というテーマのもと、東京2020オリンピック・パラリンピック（以下、東京2020大会）に焦点を当て、吉住健一区長と意見交換をしました。

生徒たちは、3年後の自分は何をしているのか、東京2020大会において自分に何ができるか等を事前アンケートやグループでの話し合いの中で考え、発表しました。この中で、「東京2020大会へ選手やボランティアとして参加する」、「自国・地域の文化を海外へ発信していく」、「日本を訪れた外国の方の手助けができるよう英語力・コミュニケーション能力を向上させる」、「思いやりを持つことも非常に大切なことだと思う」など、様々な意見が出ました。

区長からは、「区としても東京2020大会へ向けて、オリンピック・パラリンピック開催等担当課を設けて受け入れ態勢を整えている。多くの外国の方や様々な障害のある方たちが新宿を訪れることが予想されるが、その際に手助けができるようコミュニケーション能力や想像力、進んで行動する力を身につけ、誰とでも意思疎通が図れる状態をつくっていかねばいけない。また、東京2020大会が終わった後も安心して暮らし続けられる環境をつくっていくことが新宿区の目標である。」と話がありました。

生徒たちは「現在」、「3年後」、そして「オリンピック・パラリンピック開催後」のそれぞれの姿について、国際化や経済情勢、バリアフリーなど様々な視点からの意見を発表し、活発に意見交換がされる有意義なフォーラムとなりました。

